

一般会計補正予算など36議案を可決  
第10回市議会定例会

十二月三日から十五日まで、平成十六年第十回市議会定例会が開かれました。人事案件を含む三十六議案を審議し、全議案が可決・承認・同意されました。

可決された主な議案  
●字の変更

白根市大字茨曾根の一部である、通称「清水」地域およびその周辺地域を、「白根市清水」に変更します。  
●地域生活センター設置条例の一部改正

現在、教育委員会庁舎に設置されている白根地域生活センターは同庁舎の閉鎖に伴い、白根地区公民館に併設されます。このため、条例の一部を改正します。

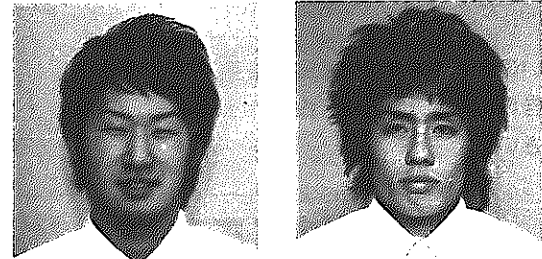


●一般会計補正予算(第九号)  
既決の予算に二億七、三四五万三千円を追加して、総額を一七〇億四二六万三千円としました。  
補正の主な内容として、歳出では農業振興費で、JA白根市が創設した「風水害対策資金」に対し、市も融資にかかる利子助成を行うため、経費の追加をしました。また同様に、稲作、果樹、野菜においても、台風被害による緊急支援事業を行うこととして、経費を計上しました。  
水防費では、災害に備え、赤浜の水防センターおよび水防倉庫の備品等を充実することとして、関連経費の追加を行いました。また内水対策として、ポンプと発電機を購入するための経費を追加しました。  
災害対策費では、中越地震の体験を踏まえ、避難所用備品を確保するための経費を追加しました。これと併せ、ポータブルトイレおよび災害対策本部用通信機器を購入するための経費も計上しました。  
歳入については、歳出に関連する国県支出金、市債、繰入金、繰越金などを調整しました。

同意された人事案件  
●固定資産評価審査委員委員の選任

笠井三作氏(七十九歳・能登)の選任について同意されました。

まごころ埼玉国体に4人が出場  
第59回国民体育大会



井上博貴さん  
(17歳・大通南1)  
サッカー・少年男子

高橋直紀さん  
(18歳・杉菜町)  
サッカー・少年男子



外川朋美さん  
(16歳・大通南2)  
走り幅跳び・少年女子

森山将貴さん  
(17歳・浦梨)  
ソフトテニス・少年男子

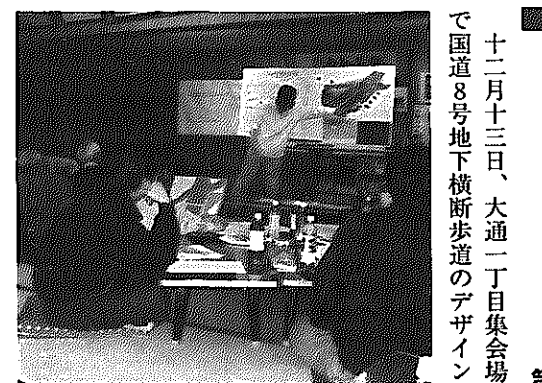
第五十九回国民体育大会が埼玉県で開催され、白根市から四人が県代表として出場しました。  
サッカーの高橋さんと井上さんは、九月十一日から十四日まで行われた夏季大会に、ソフトテニスの森山さん、陸上の外川さんは十月二十三日から二十八日まで行われた秋季大会に出場し、健闘しました。  
【夏季大会結果】  
高橋直紀(サッカー少年男子)  
井上博貴(サッカー少年男子)  
.....一回戦敗退  
【秋季大会結果】  
森山将貴(ソフトテニス少年男子)  
外川朋美(走り幅跳び少年女子)  
.....一回戦敗退  
※敬称略

地域を火災から守ろう  
白根地域少年消防クラブ修了式



白根地域少年消防クラブは、地域から火災の発生を防止することを目的に、平成六年から毎年開催されています。  
今年度は、白根小など消防本部管内八つの小学校から百三十人の児童が参加。起震車なます号の体験や放水訓練、包帯訓練などを三回コースで実習しました。十二月十七日、白根地域消防本部で行われた修了式に出席した児童は、「起震車で震度七を体験したとき、とても怖かった」と、一番印象に残った実習体験を話してくれました。

みんなでデザインしませんか  
第一回仮称下塩俣地下横断歩道懇談会



十二月十三日、大通二丁目集会所で国道8号地下横断歩道のデザイン等についての懇談会が行われました。  
これは国道8号大野大橋の四車線化に伴い、下塩俣地内に建設される地下横断歩道のデザイン等を、地域の皆さんから提案してもらおうと、新潟国道事務所と市が主催したものです。  
懇談会には、下塩俣、大通二丁目、大通二丁目の自治会の皆さんが出席。事業概要の説明を受けた後、各自治会別に意見交換を行いました。  
最後の発表会では、「デザインよりも防犯対策を」、「落書きができない壁にして欲しい」など前向きな意見が提案されました。

実力十分! 狙うは優勝!!  
白根剣士会道場  
全国大会出場

昨年十一月二十七日に行われた「スポーツ少年団全国大会新潟県剣道予選大会」の小学生団体の部で、白根剣士会道場の子どもたちが見事優勝。三月二十七日に和歌山県で行われる全国大会への切符を手にした。  
メンバーは、吉田新君(白根小五年)、古寺未来さん(白根小四年)、高橋大志君(味方小五年)、鶴巻静羽さん(小林小四年)、安達辰君(西川町鏡郷小四年)です。みんな保育園のころから剣道を始め、ともに腕を磨いてきた仲間。チームワーク抜群です。試合で緊張したとき、周りで見ているメンバーから掛けられる「ファイト!」の声が、特効薬になるそうです。  
県大会では、準々決勝、準決勝とも苦戦を強いられましたが、決勝で  
は四勝一分と圧勝。強さの秘けつは「練習量」と声をそろえる小さな剣士たち。「負けられない場面でも自分にプレッシャーを感じたときは、打たれないように打ちまくる」と、度胸満点です。  
メンバーのうち五年生は、全国の舞台の経験者。まだ未経験の四年生を引っ張って、和歌山での大会に臨みます。先鋒の安達君は「悔いのない試合をしたい」、次鋒の鶴巻さんは「先生に言われたことを生かして戦いたい」、中堅の高橋君は「優勝したい」、副将の古寺さんは「初めての全国大会なので、悔いが残らない試合をしたい」、そして大将を努める吉田君は「せっかく和歌山まで行くので、決勝まで進んで優勝を狙う」と、大舞台を前にみんな気合い十分です。

いざ 和歌山へ!!



(後列) 安達君 吉田君 高橋君  
(前列) 鶴巻さん 古寺さん